

大軍拡に反対する

～真の平和は相互の信頼の上にしか構築できない～

(教皇ヨハネ二十三世回勅『パーチェム・イン・テリス』61より)



写真提供：金井 創（日本キリスト教団佐敷教会 牧師）

オンライン公開講演会 2024年3月22日（金）18:30～

（開場18:00、終了は20:30頃を予定）

木元茂夫さん（ピースデポ理事 すべての基地にNOを！・ファイト神奈川）

日本の自衛隊は、敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有を可能にした2022年年末の安保三文書改訂を曲がり角に、今後大きく変貌していくことが予想されています。すでに自衛隊は、反撃能力の保有の準備を進め、諸外国の軍隊と連携、共同訓練なども開始しています。南西諸島ではミサイル部隊配備も進んでいます。このまま大軍拡が進み、東アジアの緊張状態がますます高まれば、日本は一体、どんなことになるのでしょうか。

2024年元旦、能登半島地震が発生し、自衛隊員の皆さんが被災地の困難な状況の中で救援にあたる姿が報じられています。不戦を誓い戦力不保持を憲法に定めている日本が、本来優先すべきことを優先し、東アジアの緊張緩和、真の平和構築のために働くことを願い、今後の私たちの取るべき道を考えます。

お申し込みはオンラインで！

<https://forms.gle/CusxsxjTAXdDg6DS7>

締め切り：3月20日（水・春分の日）

